

町の企業家

Vol.5

大石田地区 延澤 健治 さん



大石田町鷹巣生まれ 37歳 【緑町在住】

家族：娘2人(中1・小6)
趣味：太鼓
頑張っていること：仕事・太鼓・子育て、
すべてを完ぺきに！

延澤建材

大石田町大字鷹巣字上北原34番地
電話 0237-35-4451

あなたのお仕事はどんな仕事？
砕石や建設発生土(残土)の運搬、産業廃棄物の収集運搬を大型タンクで行う仕事です。
町で仕事をするのに大変だったことは？
これまでやってきた仕事と違う仕事のため、覚えることがたくさんあり大変さを感じた。
大石田町のイメージは？
何も無い町と人は言いますが、色々ある町。文化を大事にし、人と人のつながりが素晴らしい町です。



熱演する延澤さん(9/9)

町内の団体で活動していることは？
鷹巣太鼓保存会代表・最上川芭蕉連・大石田町商工会青年部。先日、県芸術文化祭の時に演劇に出演させてもらいました。太鼓はもちろんでしたが、演劇をやってみて舞台上に立つ感動を覚えました。
今後の抱負は？
父の築いた信用、信頼を大事にしながら、延澤建材を躍進させたい。建設関係の方々をはじめ、

多方面の方のご要望にお答えできるようにになりたいです。
大石田町議会へ一言。
現状維持も大事ですが、先行投資をもっとしていただきたい。損して得取れの精神で攻めの議会、議論をしてほしいです。

議員よりコメント
会社員から転職し、仕事と各種団体で楽しく活躍する姿を目のあたりにする。
鷹巣太鼓保存会は小学校の統合とともに活動しなくなってしまうが、見事復活させた行動力はすばらしいと感じた。県民芸術文化祭で役者として熱演する姿をみれば「町を元気にしたい」という思いを強く感じる。今後がんばってほしい。
【記 村岡】

議会を傍聴しませんか

◆次回の定例会は
12月5日(火)~11日(月)の予定です。
お気軽においでください。(議場は役場3階です)
お問い合わせ先 大石田町議会事務局
電話 35-2111(内線312)
FAX 35-2118

表紙の写真
町営里山スキー場が営業を終えた後に、町の写真屋さんが撮影した一枚です。
長い歲月、町民に親しまれたスキー場もこの度の条例廃止によって完全に役目を終えることとなりました。
今となっては見ることもできなくなつた光景を、万感の思いを込めて今号の議会だよりの表紙としました。
【広報委員長】

- 広報常任委員会
- 委員長 村形昌一
 - 副委員長 村岡藤弥
 - 委員 岡崎英和
 - 委員 小玉勇
 - 委員 遠藤宏司

編集後記
稲刈りが終わるとそば刈りが始まり、「新そばまつり」で町内外から多くのお客様を迎える。今年で21回目の開催となり、例年2500名を超える来場者から新そばの風味を堪能してもらっている。当然、迎えるスタッフもそれだけ大変なわけ、約30名の「打ち手」は夜明けまえから一心不乱にそばを打ち続ける。そんな苦労も「美味しい」の笑顔ですべてが報われるというものだ。
オープン以来、連日各種団体の活用で賑わう虹のプラザ。素晴らしい文化施設を町内外の方へアピールし、関心を持ってもらおう絶好のタイミングにしたいものだ。
【記 岡崎】

議会だよりのNo.154

No.154

2017.10.25

山形県大石田町ホームページ
http://www.town.oishida.yamagata.jp



携帯・スマホからアクセス!

◆第3回定例会
(9月5日~14日)

◆第4回臨時会
(7月20日)

町へ！政策提言書を提出！	2
平成28年度決算 町民1人あたりに 85万円 を支出	6
里山スキー場設置条例廃止！	12
虹のプラザの利活用は？ 4議員が一般質問	14
追跡！ 町内の子どもの学習状況は？	19
町の企業家 Vol.5	20